

尾道市立市民病院泌尿器科における 2018年—2019年の入院手術統計

尾道市立市民病院
泌尿器科

大枝 忠史, 川野 香, 杉本 盛人

要 旨 尾道市立市民病院泌尿器科における2018年と2019年の2年間の入院手術統計について報告した。1年間の入院患者総数はそれぞれ延べ599, 619人であった。総手術件数はそれぞれ445, 452件であり, うち体外衝撃波による結石破碎術 (ESWL) はそれぞれ44, 27件であった。

Key words : 入院手術統計

はじめに

尾道市立市民病院泌尿器科の2018年1月から2019年12月までの2年間に於ける入院および手術に関する統計的検討を行った。

であった。体外衝撃波結石破碎術 (ESWL) は2018, 2019年でそれぞれ44, 27件であり, 初回例はそれぞれ25, 22例であった。なお2019年における尿管ステント留置術は224件であった。

1. 全体の入院患者数と手術件数 (表1)

表1. 入院患者数及び手術件数

	2018年	2019年
年間入院患者数	599	619
男女比	3.3:1	4.8:1
手術件数 (ESWL含)	445	452 (676*)
ESWL (初回治療)	44 (25)	27 (22)

*尿管ステント留置術を含む

2018年と2019年の入院患者総数はそれぞれ延べ599, 619人であり, 男女比はそれぞれ3.3:1, 4.8:1であった。

総手術件数は2018, 2019年でそれぞれ445, 452件

2. 入院統計

入院患者の疾患を尿路性器腫瘍, 尿路結石と尿路感染症, その他の疾患に大別した。

尿路性器腫瘍では前立腺癌と膀胱癌が多かった。前立腺癌は2018年, 2019年でそれぞれ39 (初発15), 48 (初発23) 例, 膀胱癌はそれぞれ116 (初発29), 131 (初発52) 例, 腎癌はそれぞれ16 (初発7), 8 (初発3) 例, 腎盂尿管癌はそれぞれ13 (初発7), 23 (初発8) 例であった (表2)。

Clinical Study on Inpatients and Operations in Recent Two Years(2018 and 2019) at the Department of Urology, Onomichi Municipal Hospital.

Department of Urology, Onomichi Municipal Hospital
Tadashi OEDA, Kaoru KAWANO and Morito SUGIMOTO

表2. 腫瘍

	2018年	2019年
前立腺癌	39 (15)	48 (23)
膀胱癌	116 (29)	131 (52)
腎癌	16 (7)	8 (3)
腎盂尿管癌	13 (7)	23 (8)
精巣癌	2 (1)	1 (1)
副腎腫瘍	0	0
後腹膜腫瘍	1 (1)	0

()内 初発

尿路結石では尿管結石が最多であり、2018、2019年でそれぞれ72、87例であった。尿路感染症を含む炎症性疾患では腎盂腎炎が最多であり、2018、2019年でそれぞれ60、54例であった(表3)。

表3. 尿路結石と感染症

	2018年	2019年
腎結石	50	20
尿管結石	72	87
膀胱結石	15	12
尿道結石	1	0
腎盂腎炎	60	54
精巣上体炎	2	6
前立腺炎	10	9
間質性膀胱炎	0	2
出血性膀胱炎	8	7

その他の疾患では前立腺肥大症が最多であり、2018、2019年でそれぞれ53、67例であった(表4)。

表4. その他の疾患

	2018年	2019年
腎外傷	0	0
尿道損傷	3	6
尿道狭窄	4	8
尿道・膀胱異物	1	0
前立腺肥大症	53	67
骨盤内臓器脱	6	7
陰嚢水腫	6	2
精索捻転症(垂捻転を含む)	1	3

3. 手術統計

腎の手術 (表5)

部分摘除術を含む腎摘除術は2018、2019年でそれぞれ8、3件であり、そのうち体腔鏡によるものはそれぞれ8、2件であった。腎尿管全摘除術は2018、2019年でそれぞれ8、3件であり、うち体腔鏡によるものはそれぞれ7件、3件であった。

表5. 腎・副腎の手術

	2018年	2019年
腎摘除術(開腹)	0	1
体腔鏡下腎摘除術	5	2
腎部分切除術(開腹)	0	0
体腔鏡下腎部分摘除術	3	0
腎尿管全摘除術(開腹)	1	0
体腔鏡併用腎尿管全摘術	7	3
腎瘻造設術	3	4

2.尿管の手術 (表6)

尿管の手術は経尿道的腎尿管結石破碎術(TUL)が最多であり、2018、2019年でそれぞれ59、56件であった。それらのほとんどは軟性尿管鏡により施行されており、近年のTULの増加に並行してESWLの減少が目立っている。なお2018年の数字は示していないが、2019年における尿管ステント留置術は224件であった。

表6. 尿管の手術

	2018年	2019年
経尿道的尿路結石破碎術(TUL)	59	56
腎盂尿管鏡	8	7
尿管ステント留置術		224

3.膀胱の手術 (表7)

膀胱癌に対する経尿道的手術(TUR-BT)が最多であり、2018、2019年でそれぞれ89、93件であった。膀胱全摘除術は2018、2019年でそれぞれ2、6件であった。

表7. 膀胱の手術

	2018年	2019年
経尿道的膀胱腫瘍切除術	89	93
経尿道的膀胱結石摘出術	7	8
膀胱瘻造設術	2	1
膀胱全摘除術	2	6
+尿管皮膚瘻	1	3
+回腸導管	1	3
+自排尿型回腸新膀胱	0	0
膀胱部分摘除術	2	0
膀胱水圧拡張術	0	2

4.尿道の手術 (表8)

尿道狭窄に対する尿道拡張術が主なものであり、2018、2019年でそれぞれ4、7件であった。

表8. 尿道の手術

	2018年	2019年
尿道拡張術	4	7
尿道カルンクル切除術	0	0
膀胱・尿道異物摘出術	2	0

5.前立腺の手術 (表9)

前立腺肥大症に対するホルミウムヤグレーザーによる経尿道的前立腺核出術 (HoLEP) は2018、2019年でそれぞれ51、61件であり、増加傾向であった。前立腺全摘除術は2018、2019年でそれぞれ4、13件であり、それらのうち腹腔鏡下に行ったものそれぞれ3、13件であった。前立腺生検は2018、2019年でそれぞれ95、104件であり、癌の陽性率はそれぞれ58、51%であった。

表9. 前立腺の手術

	2018年	2019年
TUR-P	1	2
HoLEP	51	61
前立腺全摘除術(開腹)	1	0
腹腔鏡下前立腺全摘除術	3	13
前立腺生検 (陽性率)	95 (58%)	104 (51%)

TUR-P：経尿道的前立腺切除術
HoLEP：ホルミウムレーザー前立腺核出術

6.その他の手術 (表10)

前立腺癌に対する両側精巣摘除術 (去勢術)、包茎に対する環状切除術、陰嚢水腫根治術、精索静脈瘤に対する顕微鏡下精巣静脈低位結紮術などが主なものであった。なお、2019年からは骨盤内臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術 (LSC) を開始し、5例に施行した。

表10. その他の手術

	2018年	2019年
腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘除術	1	0
両側精巣摘除術	3	7
精巣上体摘除術	3	0
精巣静脈低位結紮術	1	6
精巣固定術	0	3
陰嚢水腫根治術	4	3
高位精巣摘除術	1	1
環状切除術	4	4
メッシュ埋め込み腔壁形成術(TVM)	6	2
腹腔鏡下仙骨脛固定術(LSC)	0	5
持続勃起症シャント造設術	0	2

結 語

尾道市立市民病院における2018年、2019年の入院・手術統計を報告した。

